雪彦山　地蔵正面壁　加古川ルート

2016.5.21

今回は夏合宿に向けてアブミ（A1）のトレーニングで、雪彦山の地蔵正面に向かった。
天候も安定しており、恐怖のヒルもおらず、アプローチは快適に取りつきまで到着。

アプローチを登る

登山道から正面壁を

見上げる

沢を渡ると、正面の取りつきまでフィックスロープが貼られていた。

横断バンドをトラバースすると取りつきのテラスに付き、登攀準備を行った。

各ビレイ点には、新しいハンガーボルトが打たれているので、リングボルトなどより安心してビレイが行えた。

ほぼ支点は整備されているが、

まだ古い支点が残されているので、よく確認が必要

登攀中の支点はフリー化されているので、人工ではかなり遠い・・・

アブミからフリーに何手か移り次の支点へ行く・・・人工からのフリーへの移行が怖く感じる

古いリングボルトやハーケンなどもまだ残っているので、上部は残置の支点を頼りにロープを伸ばしていく。上部は人工らしくそれほど遠くなく、快適に登ることができる。

４P ぐらいだが、かなり

高度感がある

パーティーわけを替えながら数本上って終了した。

まだまだトレーニングが足りないので、もう少し自信をもって登れるまでトレーニングが必要だと感じた。